

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年4月13日 (2017.4.13)

【公表番号】特表2016-530897(P2016-530897A)

【公表日】平成28年10月6日 (2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2016-058

【出願番号】特願2016-502629(P2016-502629)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0408 (2006.01)

A 6 1 B 5/0478 (2006.01)

A 6 1 B 5/0476 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 0 0 M

A 6 1 B 5/04 3 0 0 W

A 6 1 B 5/04 3 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月9日 (2017.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電極組立体であって、

貯蔵槽であって、前記貯蔵槽は前記貯蔵槽の第 1 表面上に複数の開口部を画成する、貯蔵槽と、

前記複数の開口部のうちの 1 つ以上を通って延長するウィッキング材料と、

伝導性端子と、

を備える、電極組立体。

【請求項 2】

前記ウィッキング材料は多孔性である、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 3】

前記ウィッキング材料はフェルトまたは発泡体のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 4】

前記ウィッキング材料内に吸収され且つ前記伝導性端子と接触している伝導性流体をさらに備える、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 5】

前記伝導性流体は生理食塩水である、請求項 4 に記載の電極組立体。

【請求項 6】

前記伝導性端子はバネ荷重され、前記伝導性流体に圧力を印加する、請求項 4 に記載の電極組立体。

【請求項 7】

前記貯蔵槽は変形可能な材料から製作され、それにより、前記貯蔵槽は皮膚に対して押圧されるときに変形し、前記貯蔵槽内の流体圧力の上昇を創出する、請求項 4 に記載の電極組立体。

【請求項 8】

前記第 1 表面は平坦である、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 9】

前記複数の開口部のそれぞれは、複数のプローブのうちの 1 つのプローブの端部上にそれぞれ形成される、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 10】

前記複数のプローブは8 mmの高さを有する、請求項 9 に記載の電極組立体。

【請求項 11】

前記複数のプローブは、1 mm と 2 mm との間、2 mm と 3 mm との間、3 mm ～ 4 mm との間、4 mm と 5 mm との間、5 mm と 6 mm との間、6 mm と 7 mm との間、7 mm と 8 mm との間、および 8 mm と 9 mm との間からなる群から選択された高さを有する、請求項 9 に記載の電極組立体。

【請求項 12】

前記複数のプローブは3 mmの外径を有する、請求項 9 に記載の電極組立体。

【請求項 13】

前記複数のプローブは2 mm と 4 mm との間で選択された外径を有する、請求項 9 に記載の電極組立体。

【請求項 14】

前記複数のプローブは2 mmの内径を有する、請求項 9 に記載の電極組立体。

【請求項 15】

前記貯蔵槽は5 個と 20 個との間の開口部を画成する、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 16】

前記貯蔵槽は5 個と 10 個との間の開口部を画成する、請求項 8 に記載の電極組立体。

【請求項 17】

前記ウィッキング材料は前記複数の開口部を3 mm越えて延長する、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 18】

前記伝導性端子は前記複数の開口部の逆側面上に配置されている、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 19】

前記伝導性端子は銀／塩化銀の電極である、請求項 1 に記載の電極組立体。

【請求項 20】

脳波測定装置であって、

被術者の頭部上の配置のために適応および構成されたヘッドピースと、

前記ヘッドピースの内側表面上に配置されている、請求項 1 に記載の複数の電極組立体と、

前記複数の電極組立体と連結するために適応および構成された 1 つ以上のコネクタ・ケーブルと、

を備える、脳波測定装置。

【請求項 21】

前記複数の電極組立体は、

前記被術者が毛髪を有しない領域に対応する位置に配置されている、請求項 8 に記載の複数の電極組立体と、

前記被術者が毛髪を有する領域に対応する位置に配置されている、請求項 9 に記載の複数の電極組立体と、

を含む、請求項 20 に記載の脳波測定装置。

【請求項 22】

前記複数の電極組立体は、前記ヘッドピース内で 10 - 20 配置法に対応する位置に配置されている、請求項 20 に記載の脳波測定装置。

【請求項 23】

前記電極組立体のそれぞれは、前記キャップ上で前記 10 - 20 配置法に対応する位置

に配置された複数のリング形状ソケットのうちの1つに弾発嵌合するように適応および構成される、前記伝導性端子のキノコ形状延長部分を含む、請求項22に記載の脳波測定装置。

【請求項24】

前記1つ以上のコネクタ・ケーブルと連結し、且つ前記1つ以上のコネクタ・ケーブルを介して複数の電極シンボルから受け取られた電気信号を記録するために適応および構成された記録装置
をさらに備える、請求項20に記載の脳波測定装置。

【請求項25】

前記1つ以上のコネクタ・ケーブルは前記ヘッドピースにオーバーモールドされる、請求項20に記載の脳波測定装置。

【請求項26】

前記1つ以上のコネクタ・ケーブルは金属ワイヤ導体および伝導性クロスからなる群から選択される、請求項20に記載の脳波測定装置。

【請求項27】

脳波測定方法であって

請求項20に記載の脳波測定装置を被術者の頭部上に配置することと、

前記1つ以上のコネクタ・ケーブルを介して複数の電極シンボルから受け取られた電気信号を記録することと、
を含む、方法。

【請求項28】

伝導性流体を前記ウィッキング材料に加えること

をさらに含む、請求項27に記載の方法。

【請求項29】

前記電極組立体から密閉を取り外すこと

をさらに含む、請求項27に記載の方法。

【請求項30】

ユーザによる解釈のための様々な電極からの電気信号の視覚的出力を生成するように構成された記録および／または監視用機器において前記電気信号を受け取ること
をさらに含む、請求項27に記載の方法。

【請求項31】

電極組立体であって、

貯蔵槽キャップ部と、

前記貯蔵槽キャップ部に嵌合し、且つ前記貯蔵槽キャップ部とともに貯蔵槽を画成するように構成された貯蔵槽底部と、

前記貯蔵槽内に配置された電極と、

前記電極と電気連通し且つ流体を吸収するように構成されたウィッキング要素であって、前記ウィッキング材料の少なくとも一部は前記貯蔵槽底部から突き出るように構成される、ウィッキング要素と、
を備える、電極組立体。

【請求項32】

前記ウィッキング要素は、ベース部分および前記ベース部分から延長する脚のアレイを含む、請求項31に記載の電極組立体。

【請求項33】

前記ウィッキング要素は硬質または半硬質のフレームを含み、ウィッキング材料でコーティングされる、請求項31に記載の電極組立体。